理事からのメッセージ



未来医学研究会への期待
～「ドリル」的な役割に期待～

鍵谷 昭典　Akinori Kagitani

一般社団法人日本画像医療システム工業会（JIRA）
経済部会副部会長、診療報酬委員会委員長
公益社団法人日本診療放射線技師会（JART）診療報酬政策立案委員会委員
ヘルシィエイジング学会理事
独立行政法人情報処理推進機構（IPA）認定セキュリティプレゼンター
NPO法人日本ネットワークセキュリティ協会（JNSA）認定登録指導者
株式会社根本杏林堂　医療政策担当部長

理事と第11期の運営委員を務めております鍵谷です。現在は会員間の交流の場としてのFacebook「MIRAI」を盛り上げようと取組んでいますが、忙しさに感けて盛り上げが不十分で申し訳ございません。是非、皆さんからの多くの参加とご意見をお待ちしております。私は、この未来医学研究会は多くの医療関連企業の方々の集まりであり、とてもユニークな存在と思っております。

以前にダボス会議での安倍首相の演説の中に「ドリル」を使って国家戦略特区で岩盤規制を打ち破るという強い意思表現がありました。まさに硬直化した岩盤のような制度や法律に風穴を開け、グローバルに戦える日本のイノベーションを評価し、経済成長に結び付けることは非常に重要であり、必ずやり遂げなければなりません。

この「ドリル」という言葉は的を得ているなと感じています。よく既成概念等を破壊する意味で「ハンマー」が用いられますが、これは叩き潰すニュアンスが強く、必要なものモノまで全て破壊するイメージが強いと思います。またそのためには相当な馬力と抵抗勢力との戦いがあり、並大抵ではありません。

大阪では橋下さんが大阪都構想実現に向けた破壊と創造を訴えていますが、どうも旗色がよくありません。言っていることはそんなに間違っているわけではありませんが、抵抗勢力に苦労しています。そこで未来医学研究会では医療・医学での「ドリル」的な役割を担い、「未来特区」構想を自由闊達に気楽に真面目に、会員の皆さんと議論できれば楽しいのではないでしょうか。

私は再生医療等をはじめとした最先端の医療に従事しているわけではありませんので、「ドリル」の先端にはなれないかもしれませんが、皆さんと意見を出し合って面白い「ドリル」を発案することはできるかもしれません。「ドリル」には他にも「訓練」という意味もあります。それぞれの皆さんが持っている知識やノウハウをお互いに学び合う場所としても最適なのではないでしょうか。

会員の皆さんとの楽しい研究会としての繋がりが、やがて実を結び、国家戦略の提言にまで発展していくことを願っています。

是非、この未来医学研究会を皆さんで盛り上げていきましょう。

●略 歴

・同志社大学工学部機械工学科卒業
・東京女子医科大学医用工学研究施設（現 先端生命医科学研究所）にて、バイオ・メディカル・エンジニアリング課程修了（BME取得）
・システム開発部長、システム開発事業部長、情報化戦略室長を経て、医療系コンサルタントとして現在に至る。
・日本画像医療システム工業会（JIRA）経済部会副部会長等として活動。

（主な保有資格等）
・医業経営コンサルタント協会認定登録医業経営コンサルタント
・経済産業省推進資格ITコーディネーター
・医療情報システム開発センター（MEDIS-DC）プライバシー（P）マーク上級監査員
・大阪府高齢者福祉施設第三者評価審査員
・マイクロソフト認定システムコンサルタント
・日本経営品質賞認定セルフアセッサー　他